

株主の皆様へ

第66期 中間株主通信

平成21年4月1日～平成21年9月30日



資源循環が私たちの使命です。

 **共英製鋼株式会社**



代表取締役社長
吉岡 龍太郎

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

第66期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）の当社グループの業績をここに報告申し上げます。

当中間期の普通鋼電炉業界は、世界的な不況の影響で国内景気が低迷し、建設用鋼材の需要が極めて低い水準で推移しました。一方、当社製品の主原料である鉄スクラップ価格は、中国の旺盛な鉄鋼需要の影響を受けて8月中頃まで上昇し、厳しい経営環境が続きました。

このような中、当社グループは鉄鋼製品需要と鉄スクラップ価格の動向を見極め、需要に見合った生産・販

売に徹することで、事業継続に必要な製品価格の形成に努めました。この結果、当中間期の業績は、連結売上高580億95百万円（前年同期対比49.8%減）、連結営業利益85億16百万円（同19.6%増）、連結経常利益92億97百万円（同19.6%増）、連結中間純利益52億88百万円（同36.5%増）と、減収・増益となりました。売上高の大幅減にもかかわらず増益となったのは、前期に高騰した鉄スクラップ価格に対応して成約した製品が当期中間に出荷されたことが主因です。

中間配当につきましては、当初の予定通り、1株当たり15円とさせていただきます。

本年度下半期以降の経営環境は、さらに厳しさを増すものと予想しておりますが、当社グループは、難局こそ特長を発揮するチャンスと考え、経営戦略の推進にチャレンジを続けてまいります。

また、当社は東京鐵鋼株式会社との経営統合について、本年3月に合意し、公正取引委員会の企業結合審査に対応してまいりましたが、予定通り平成22年4月1日に新会社をスタートすることが難しい状況となったため、これ以上の延期は適当でないとの経営判断を行い、同社との経営統合を中止することといたしました。しかし、上場来の当社の目標である「電炉業界の再編・統合の基軸会社を目指す」という方針に変更はありません。

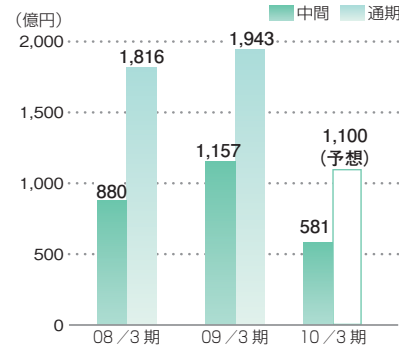
何卒、今後とも株主の皆様方のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

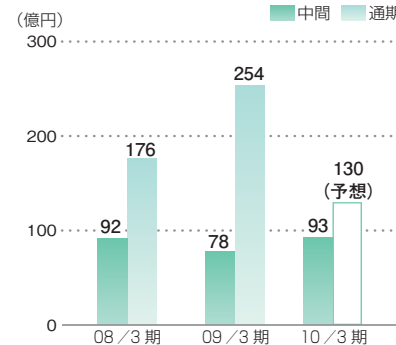
FINANCIAL HIGHLIGHTS

財務ハイライト

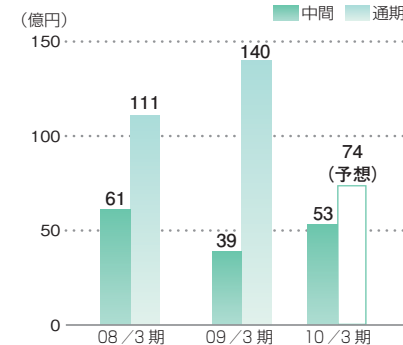
◆ 連結売上高



◆ 連結経常利益



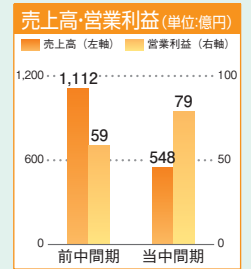
◆ 連結中間(当期)純利益



鉄鋼事業

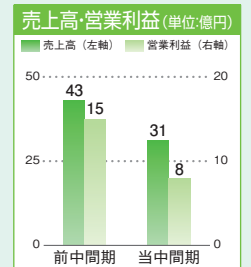
建設用鋼材の需要減から、製品出荷量が前年同期に比べ、約26万トン（26.2%）減少し、製品の平均出荷単価はトン当たり約2万9千円下落しました。しかし原材料の鉄スクラップの平均消費単価がトン当たり約3万6千円下落したことから、利益の源泉となる売買価格差は、トン当たり約7千円拡大しました。

以上の結果、売上高は547億89百万円（前年同期対比50.7%減）、営業利益は79億19百万円（同33.1%増）の減収・増益となりました。



環境リサイクル事業

前期に引き続き、産業活動が低調であったことから、産業廃棄物の処理量が減少した結果、売上高は31億47百万円（前年同期対比26.9%減）、営業利益は8億32百万円（同43.5%減）となりました。



連結財務諸表

▶ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期末 (平成21年9月30日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)	科 目	当中間期末 (平成21年9月30日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	69,815	70,288	流動負債	22,518	28,051
現金及び預金	14,436	20,120	支払手形及び買掛金	11,950	11,707
受取手形及び売掛金	26,953	29,789	短期借入金	603	882
有価証券	8,500	500	未払法人税等	3,450	6,795
たな卸資産	16,958	16,483	その他	6,515	8,666
その他	2,969	3,396	固定負債	7,317	6,506
固定資産	83,086	83,422	長期借入金	1,459	654
有形固定資産	65,280	65,405	繰延税金負債	818	840
建物及び構築物	15,269	15,671	再評価に係る繰延税金負債	3,988	3,989
機械装置及び運搬具	21,276	21,671	その他	1,052	1,022
土地	27,786	27,184	負債合計	29,835	34,557
その他	949	879	純資産の部		
無形固定資産	1,251	1,240	株主資本	116,976	112,788
投資その他の資産	16,554	16,778	資本金	18,516	18,516
投資有価証券	12,582	12,731	資本剰余金	21,493	21,493
その他	3,973	4,047	利益剰余金	77,940	73,752
資産合計	152,901	153,711	自己株式	△ 973	△ 972
			評価・換算差額等	5,318	5,599
			その他有価証券評価差額金	884	1,095
			土地再評価差額金	4,765	4,764
			為替換算調整勘定	△ 331	△ 260
			少数株主持分	772	767
			1 純資産合計	123,066	119,154
			負債純資産合計	152,901	153,711

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

▶ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
2 売上高	58,095	115,655
売上原価	45,236	103,162
売上総利益	12,858	12,492
販売費及び一般管理費	4,343	5,373
3 営業利益	8,516	7,119
営業外収益	921	1,033
営業外費用	140	378
経常利益	9,297	7,774
特別利益	11	14
特別損失	561	1,458
税金等調整前中間純利益	8,747	6,331
法人税等	3,413	2,429
少数株主利益	46	26
中間純利益	5,288	3,875

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

▶ POINT 1 自己資本比率の上昇

当中間期末の純資産は1,230億66百万円となり、自己資本比率は80.0%に上昇しました。

▶ POINT 2 売上高の減少

販売量が減少し、製品価格も大きく下落したため、売上高が前年同期に比べ大きく減少しました。

▶ POINT 3 営業利益の増加

製品価格の下落以上に原材料の鉄スクラップ価格が下落したことにより、売買価格差が拡大し、営業利益が増加しました。

▶ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	5,282	△ 6,372
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,593	△ 1,537
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 604	△ 1,019
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 1	0
現金及び現金同等物の 増減額	2,085	△ 8,927
現金及び現金同等物の 期首残高	20,850	14,155
現金及び現金同等物の 中間期末残高	22,934	5,228

(注) 記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

枚方事業所の取り組みが、テレビ番組で紹介されました。

本年9月に鳩山新政権が打ち出した「2020年に地球温暖化ガス25%削減（1990年度比）」という目標数値を受け、CO₂削減に向けた産業界での様々な取り組みや実現可能性についての議論がメディアで取り上げられる機会が増えています。

そうした中で、当社枚方事業所枚方工場がテレビ局2社の取材を受けました。これは、工場敷地を二分する市道の地下にトンネルを掘ることによってビレット（半製品）を熱塊のまま圧延工程に直送し、さらに加熱炉に高効率バーナーを採用して燃料使用量を減らしたことにより、CO₂の排出量を年間約4,200トン削減したことを紹介したものです。本年9月には日本テレビ「ニュースZERO」（全国放送）や「リアルタイム」（関東地方）、同11月には朝日放送「ニュースゆうプラス」（関西地方）などのニュース番組の中で、CO₂削減に対する産業界の取り組み例として放映されました。

この枚方事業所の取り組みについては、昨年1月に（財）省エネルギーセンターより「資源エネルギー庁長官賞」を、本年2月には大阪府より平成20年度「おおさかストップ温暖化優秀賞」を受賞するなど、高い評価を得ています。

当社をはじめとする鉄鋼業界では、長年にわたってCO₂削減に取り組み、様々な方法で既に一定の成果を上げてきていることから、これを今後さらに削減していくことは容易ではありません。しかし当社グループでは、メーカーの本分であるコスト削減・省エネ対策を行う中で、今後ともCO₂削減に向けてチャレンジを続けていきます。



テレビ局の取材に答える橘川枚方事業所副所長

ホームページのご案内

<http://www.kyoeisteel.co.jp/>

当社ホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。



▲トップページ

株式の状況 & 会社概要

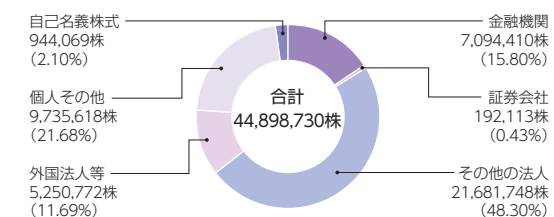
株式の状況（平成21年9月30日現在）

発行可能株式総数	150,300,000株
発行済株式総数	44,898,730株
株主数	3,508名
大株主	

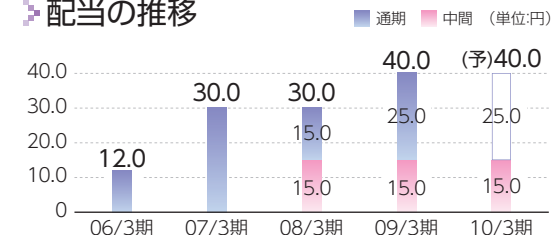
株主名	持株数	持株比率
住友金属工業株式会社	11,592,932株	25.82%
高島 秀一郎	5,375,460	11.97
エア・ウォーター株式会社	3,292,400	7.33
高島 成光	2,233,000	4.97
三井物産株式会社	1,470,000	3.27
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,213,900	2.70
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,060,800	2.36
共英製鋼株式会社	944,069	2.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	904,410	2.01

(注) 持株比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況



配当の推移



会社概要（平成21年9月30日現在）

商号	共英製鋼株式会社 (KYOEI STEEL LTD.)
設立	昭和22年8月21日
資本金	185億16百万円
従業員数	1,078名(連結:正社員)
主な事業	(1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売 (2) 一般産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・処分業 および自動車リサイクル事業ならびに廃棄物再生資源 化事業 (3) 鉄筋・ねじ鉄筋加工と組立工事 (4) 鉄鋼製造プラントの設計および鉄鋼製造技術の販売
関連会社	関東スチール(株) 共英建材工業(株) 共英産業(株) (株)共英メソナ 共英リサイクル(株) 共英加工販売(株) 中山鋼業(株) ビナ・キョウエイ・スチール社 他

役員（平成21年10月1日現在）

代表取締役会長	高島 成光	取締役	青木 弘
代表取締役副会長	高島 秀一郎	常勤監査役	鬼形 聰彦
代表取締役社長	吉岡 龍太郎	監査役	井関 博文
取締役副社長執行役員	永田 紘文	監査役	瀧井 道治
取締役副社長執行役員	森田 浩二	執行役員	中川 文雄
取締役専務執行役員	深田 信之	執行役員	平岩 治雄
取締役専務執行役員	緒方 健	執行役員	島 芳弘
取締役常務執行役員	川崎 孝二	執行役員	市原 修二
取締役常務執行役員	座古 俊昌	執行役員	橘川 芳夫
取締役常務執行役員	合六 直吉	執行役員	岡田 章
取締役常務執行役員	木村 弘隆	執行役員	武田 英
取締役執行役員	土井 真人	執行役員	大田 和義
取締役執行役員	松田 良弘		

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日
定時株主総会 3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
期末配当 3月31日
中間配当を行う場合 9月30日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)
（および電話照会先） (郵便物送付先)
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417
- 公告方法 電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 上場証券取引市場 東京証券取引所市場第一部、大阪証券取引所市場第一部
- 証券コード 5440

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

❖ 共英製鋼株式会社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階

TEL 06 (6346) 5221 (代表)

URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>